

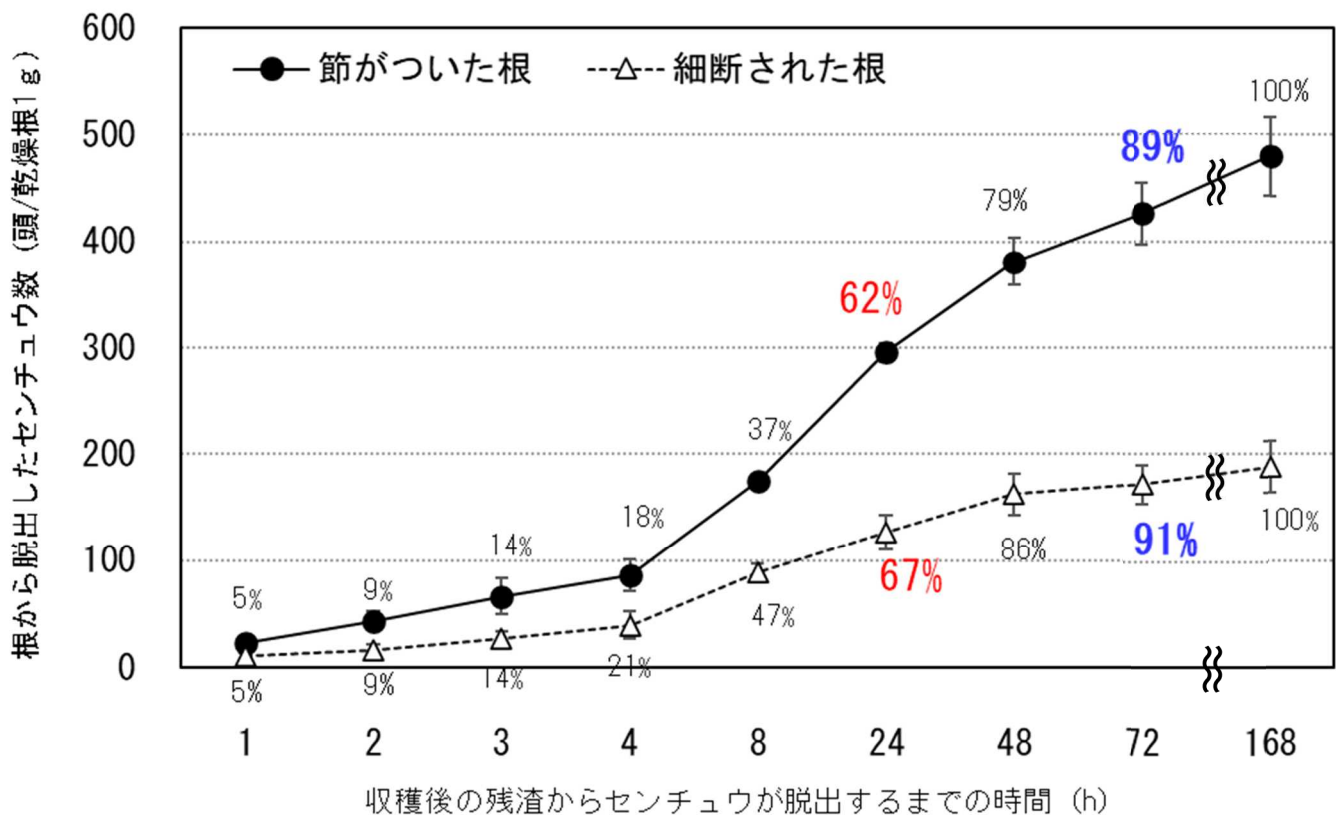
センチュウ対策としての 適切なれんこん残渣の持ち出し

れんこんの根はレンコンネモグリセンチュウ（以下センチュウ）の住みかであるため、掘り取り後の残渣を持ち出すことはセンチュウ対策として有効です。しかし、持ち出すタイミングや場所には注意が必要ということが、最近の調査でわかりました。

【持ち出すタイミング】

水に浮いた、れんこん残渣の根からセンチュウが脱出する日数は？

水に浮いた、れんこん残渣の根から脱出したセンチュウ数を時間別に計測した結果（25℃での室内試験）、24 時間後には 60%以上、72 時間後には約 90%のセンチュウが脱出していました。



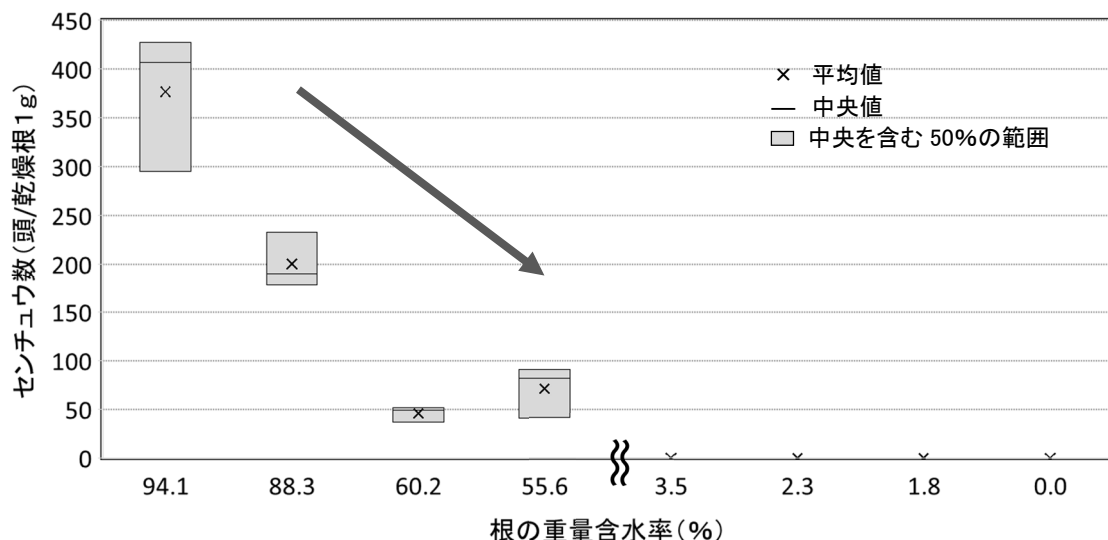
水に浮いてから 24 時間後には半分以上のセンチュウが根から脱出し、ほ場に戻ってしまうため、センチュウ対策として残渣を持ち出す場合には、**残渣が発生した当日に持ち出すことが効果的**です。

【持ち出す場所】

根のセンチウ数と水分の関係は？

根のセンチウ数と水分の関係を調べたところ、根の含水率が低下するにつれて、センチウ数は減少し、含水率 3.5%以下では確認されませんでした。

一方、見た目は乾いていても、手で触ると湿り気を感じる状態では含水率は 50%以上あり、センチウが確認されました。



重量含水率 55% の根

根は十分に乾燥しないとセンチウが生存しており、汚染源となります。

【持ち出す場所】

畦畔に積まれた、れんこん残渣にセンチウはいるの？



畦畔に野積みされた、れんこん残渣

令和6年 10 月上旬に畦畔へ積まれたれんこん残渣の根を 11 月中旬に採取し、センチウ数を調べたところ、根 10g あたり6頭のセンチウが確認されました。

採取した根は湿り気があったことから、畦畔に野積みされた残渣の根が十分に乾燥しない場合は、1 ヶ月以上、経過してもセンチウが生存していることがわかりました。

畦畔に野積みされた、れんこん残渣の根は十分に乾燥しないと、長期間センチウが生存し、汚染源となります。

センチウ対策として残渣を持ち出す際は、ほ場外への運搬を徹底します。

センチウと土壌水分の関係は？

センチウは乾燥に弱いため、根と同様に土壌が乾燥すると、土壌中のセンチウ数も減少します（データ省略）。

センチウ被害の拡大を防ぐためには、農具や機械は泥を十分に洗い流し、その後しっかりと乾燥させることが重要です。

ほ場外へ運搬する際、残渣や泥が周辺のほ場に入らないよう注意しましょう！

